

令和6年度 第2回学校運営協議会について（報告）

令和6年12月12日（木）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：中島 智子（大阪大谷大学 元特任教授）
副会長：宇野 里砂（武庫川女子大学 教授）
委 員：吉松 崇（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）欠席
竹澤 住江（卒業生保護者 児童発達支援・放課後等デイサービス Snuggle UP）
尾濱 一信（藤井寺市川北地区 区長）
森川 雅子（PTA会長） * 敬称略

1 開会

- ・挨拶 校長 高田 清將
- ・配布資料の確認

2 報告

- ① 令和6年度 進路状況について（進路指導部）
今年度の卒業予定者の進路選択の状況について説明を行った。
- ② 授業アンケート（教頭）
1.2学期に保護者向けに行った授業アンケートの結果報告をした。
- ③ 教員研修報告
今年度、指導教諭が主体で行った教員向けの研修の実施状況について報告をした。

3 議題

令和6年度「学校経営計画」について

4 協議内容

令和6年度「学校経営計画」について説明（校長）

（議 長）昨日締め切りであった学校自己診断についての結果報告は、次回行ってもらう。

（委 員）人材育成の研修の話題があったが、学校全般的に教員不足といわれている。支援学校として苦勞しているのはどんなどころか。また、支援学校の教員の特支免許の保有率はどのような状況か。

（校 長）団塊の世代の大量退職をうけての若い世代教員の増加、教員採用試験の受験率の低さ等の社会背景より、専門性や経験等の繋がり難しさからくる専門性の維持や、教員の人材不足等の問題がある。
免許の保有率は、本校においては98～99%。

（委 員）学生は、教員採用試験に対してポジティブになってきている印象。前倒し受験した3年生もいる。特支課程を新たに作る大学もあれが、特支課程を教える教員が少ないのが現状。

（委 員）HPは、写真があってわかりやすくなっている。

（委 員）地域から10名ほど、ポッチャクラブとの交流をした。今年で2回目。平日のため、高齢

者が多いが、参加者は喜んで帰った。避難所になっているので、繋がっていきたい。自治会は、毎年メンバーが変わる。いつも来る人が決まってきて、高齢になってきている。

(事務局) 地域の方からは、バザーの提供品のご協力をたくさんいただいた。

(委員) バザー提供ありがとうございます。地域の方もバザーに遊びにきてください。

(委員) たくさん勉強されていることがわかった。福祉事業所も、専門的な知識は必要。人材確保が大変。

(委員) 新転任研修とても充実している。ミドルリーダーの育成は大切で、重点的にするべきところ。自活通信をHPにあげてもいいのでは？保護者にも学校の取り組みがわかるし、教員のモチベーションにつながるのでは。自活部のYouTube動画は、大学の授業でも使っている。認知機能も、重要な項目。広島県福山特別支援の実践を取り入れている学校もある。センター的機能として、専門性の高い教員を派遣する際、若い教員も同行することで、次世代の育成につなげていってもよいのではないか。

次回連絡 令和7年2月27日(木) 9時30分～ 予定

閉会